

くらしのご相談事
いつでもお声かけ
ください。



日本共産党の竹田えつ子です

こんにちはニュース 議会報告

No.223 2023年5月4週

臨時議会が流会

5月18日・19日に開
会された臨時議会は、
議長を決めるくじ引き
を巡り議事が止まり、
流会となりました。

24年間の議員生活の
中で初めてのことです。
臨時議会は、5月25
日・26日に再度開会予
定です。

物価高騰に追いつか ない—賃金、年金

全労連・国民春闘共
闘委員会の集計では、
今年の賃上げは平均6
322円(2.18%)。非
正規雇用では、時給の
単純平均で30.1円(2
.96%)プラスとなつた
と報道されています。

年金受給者で68歳以
上の方は、4月分から
1.9% 67歳以下の
方は2.2%プラスに
なります。昨年度の物
価上昇率は、3.0%

ですから物価高騰分に
追いついていないのが
現状です。5月から清
涼飲料水が値上げに、
6月からは家庭用電気
料金の値上げが発表さ
れています。

天井知らずの物価高
騰でも、何の手立ても
とらない岸田自公政
権。にもかかわらず支
持率が上がっているこ
とは不思議です。

物価高騰の中で、 国保税最高限度額を 2万円もアップ

今年度より市の国民
健康保険税は、均等割
りを1人2万円から2
万7000円に、介護
納付金課税額(40歳以
上64歳までの方が納
付)の所得割を2.0
%から2.2%に値上
げしました。1世帯当
たり平均7000円負
担が増えることになり
ます。さらに臨時議会
には、後期高齢者支援
分の最高限度額を、20
万円から22万円にする
議案が出されています。
これに伴い市の国保
税の最高限度額は10
4万円になります。所
得の11%も国保税とし
て納めることになりま
す。本来国が1兆円補
助すれば、国保税の値
上げはしなくてすま
す。

「軍事費増やすよ
り、くらしにまわせ
」粘り強く声を上げ
ていきます。わざわざ
郵送してくださった方
もいました。感謝申し
上げます。

「学校給食費の無償
化を求める署名」「安
心できる介護保険制度
を求める署名」にご協
力いただきありがとうございます。
ご協力ありがとうございます。

続けましょう！

【追加】

こんにちはニュース
No.222でお知らせし
た会派構成で、矢島洋
文議員の空白の部分
は、無所属の会になり
ました。

日本共産党市議団

市政懇談のご案内

5月28日(日)14時から16時

鴻巣中央公民館 研修室

お誘い合わせて
ご参加ください

皆様のご意見・ご要望を
お気軽にお寄せください。



「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」を受け、日本共産党の志位和夫委員長は20日、次の談話を発表しました。

1、G7首脳は、19日、「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」を出した。今回のサミットは、開催地が広島であることから、内外から核兵器廃絶への前向きなメッセージを期待する声寄せられたが、「広島ビジョン」はそれを真つ向から裏切るものとなった。

1、「広島ビジョン」は、「核兵器のない世界」を言葉ではのべているが、それは「究極の目標」と位置づけられ、永久に先送りされている。何より重大なことは、核兵器は「侵略を抑止し、戦争と威圧を防止する」と、「核抑

被爆地から核に固執する

宣言は許しがたい

志位委員長が談話

1、「広島ビジョン」は、広島・長崎が「非人間的な苦難」を経験したという歴史的事実には触れているが、核兵器そのものが非人間的な兵器であるという批判や告発は一言ものべていない。

NPT（核不拡散条約）第

一言の言及もない。90を超える諸国が署名しているこの国際条約が、あたかも世界に存在しないかのような態度をとっている。

首脳らは、原爆資料館で何を見たのか。

被爆地から核兵器に固執する宣言を行ったことは、恥ずべきことである。

1、こつした恥ずべき宣言を発表した議長国・日本の岸田首相の責任が、厳しく問われる。被爆者をはじめ市民社会、世界の多くの各国政府が求めているのは、サミットに招待されている

ASEAN議長国・インドネシアのジョコ大統領がのべたように「核兵器の破壊」＝核兵器の禁止・廃絶である。

日本政府に、「核抑止力」論と決別し、核兵器禁止条約に参加することを強く求める。

器を使用し、広島・長崎のような非人道的惨禍を引き起こすことをためらわない議論である。こつした立場を被爆地から発信したことは、被爆者と被爆地を愚弄するものであり、決して許すことはできない。

6条にもとづく、「自国核兵器の完全廃絶への明確な約束」(2000年、NPT再検討会議の最終文書)など、核兵器国の核廃絶への義務を果たすことについても、一言ものべていない。

核兵器禁止条約について、